

を書いていた生徒がいた。この生徒に対して何かフォローをしなくては... と思っているうちに、冬休みに入ってしまった。卒業前に、ちゃんと話しをしてみたいと思います。③授業の進め方、話し方が下手だったこと。次年度は、担任または体育担当の先生にも協力してもらえよう働きかけたいと思います。/・どこまで踏み込んで指導すべきか迷った。自己研修の必要性を感じた。・言葉がむずかしいものがあるので、生徒が十分に理解できたか、不安である。/・転動してきたばかりで、子どもたちの実態をつかみきれていなかった為、グループワークやゲーム中、メンバーによって、失敗だったな... と思うグループ分けになってしまった。(保健委員の生徒にグループ分けをしてもらったのも失敗...?) /T・Tということなので、担任としての役割、どのように協力していったらよいかという点。(事前にもう少し自分自身が内容についての理解を深めてのぞめばよかったかな) /グループワークに慣れていない先生方に理解してもらうのに手間どった。/・養護教諭が中心になり、指導案等準備したが、それを打合せの上、各担任が授業を実施したが、説明不足、理解不足の点も少しみられた。/・性感感染症や性に対して、全体的に知識不足であると感じた。/・アンケートをよみとるスキルが必要だと思った(自分のよみとりとそれに応じた手立てが適切だったのか不安である)

#### ⑨ 機器操作が難しい(10校:9.9%)

代表例：・パワーポイントが操作しにくかった。/・メッセージスライドを心を込めて作成!...ところが(個人の)パソコンのパワーレベルがあまり高くないため、思うように映せない、音楽と合わないといった物質面の問題。・種類の機器が本番でうまく作動しないと授業が中断するのではという心配がある。/特にはないが、器材の設置がめんどうだった。/視聴覚機器(パワーポイント、CDラジカセ、ビデオデッキ、スクリーン)の準備と設営など、職員の協力は得られたものの、ぎりぎりまでかかった。/機会操作に手間どった/視聴覚機器の不具合/・必要な機器が多く、準備が大変だった。また充分な数がなく、他の学校から借りてこなければいけなかった。/・プロジェクター、パソコンを毎時間、各教室に準備すること。/・最後に、人生の笑顔の写真を音楽とともにスライドショーで映す場面は、一番のクライマックスだと思うが、その時に機械操作をマスターしておかなかったため、効果も半減してしまった。/・地デジTVから録画したDVDが編集できず、一番四苦八苦した。何とかVTRに落とせたが時代が変化しこういう点でも教材作りに知識が必要だと思った。/・DVDとビデオと機器の準備が大変だった(どちらか一方に統一だといいい)

#### ⑩ 装飾でのトラブル(7校:6.9%)

代表例：最初ザワザワして、ちょっと悪ふざけをする生徒がいた。(ぬいぐるみの服をぬがせる、綿をひっぱり出す...など) /ぬいぐるみを投げ合う、ひっぱって破損する、プロジェクターで影絵をする、etc と本校の”人の話をじっくり聴けない”という短所がパワーポイントを使用しての講義にもかかわらずいくつかのクラスで見られた。/ぬいぐるみは多くの生徒にはよかったが、一部のそれもさわがしい落ちつきない生徒がより遊んでしまっただけで集中できない状況になったので、本校の今年の生徒にはなくても全体の影響を考えるといい。(他の話しをよく聞きたい生徒にはあってよかったとも言われたんですけど) /机上のぬいぐるみはリラックスさせる効果は確かにあったが、かえって大事な部分で、生徒の集中力が途切れていた様子であった。/・ぬいぐるみは生徒たちのいやしになるが遊ぶ生徒もいて、そこに気を配らないといけないのもしんどかった。/ぬいぐるみについては、置いても良かった面もあるが、話に集中せず、ずっとそれで遊んでしまう生徒がいた。そういう生徒の様子も知ることはできたが果して授業の内容がわかったのか、感想からはよみとれなかった。

/◆場所を変えたり、テーブルクロスをしたりすると興奮して落ち着かなくなると学年会で話が出たため、1コマ目は、2クラス合同で視聴覚室、2コマ目は、各教室、生活班（男女一結混合）で行なうことになり、WYSH教育の基本からずれてしまった

⑪ 今後への要望(5校:5.0%)

代表例：・何をテーマに取り上げるのか、ワーク、話し合い活動の授業を考える時、色々考えた。多くの学校が取り組まれているので、指導案集や実践記録集があると参考にできて考えやすかったのになあと感じました。/夏に受けた研修でもう少し指導案を考える時間をもらいたかったです。11月ごろに参加教師で集まり再検討の時間をもちましたが、少し苦労しました。/・WYSH教育をどのように本校で実施するか検討する時間が必要。/感染者数、性感染症などのグラフの見方が容易ではないという指摘がありました。縦軸、横軸が表している項目、数値が、少し見ただけでは理解しづらいところがありました。/・パワーポイントの流れでつながりがわかりにくいところがあった。(内容がとんでいるように思えたが...) エイズから中絶に移るところ

⑫ 他教科との連携(3校:3.0%)

代表例：・保体で事前に性感染症の学習をしたので1回目アンケート結果での○×クイズが分かったものばかりで、もりあがらなかった。保体との連携は大切/担任または体育担当の先生にも協力してもらえよう働きかけたいと思います。/・保健体育「性感染症」と系統性をもたせる必要を考じた。/保健の授業時時間と抱き合わせて行なったため、時間が不足し教えるのにしんどかったです。

⑬ 次年度への継続困難(2校:2.0%)

代表例：来年も希望したいが、学校全体の理解と協力が得られるか心配。/・次年度につなげることができるかどうか。

図27.WYSH 教育に対する感想(中学校:101校)良かった点

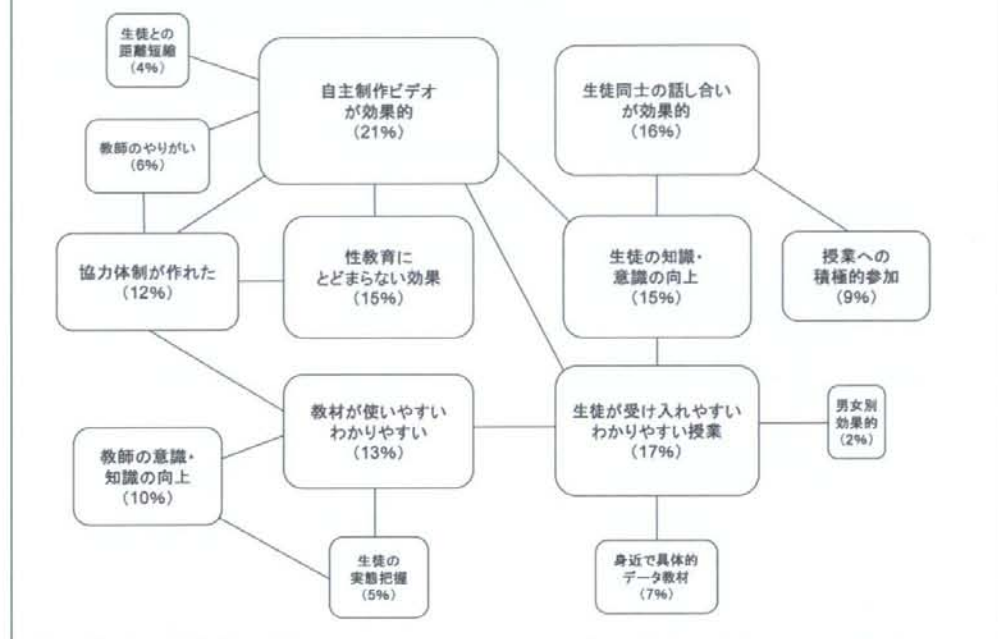
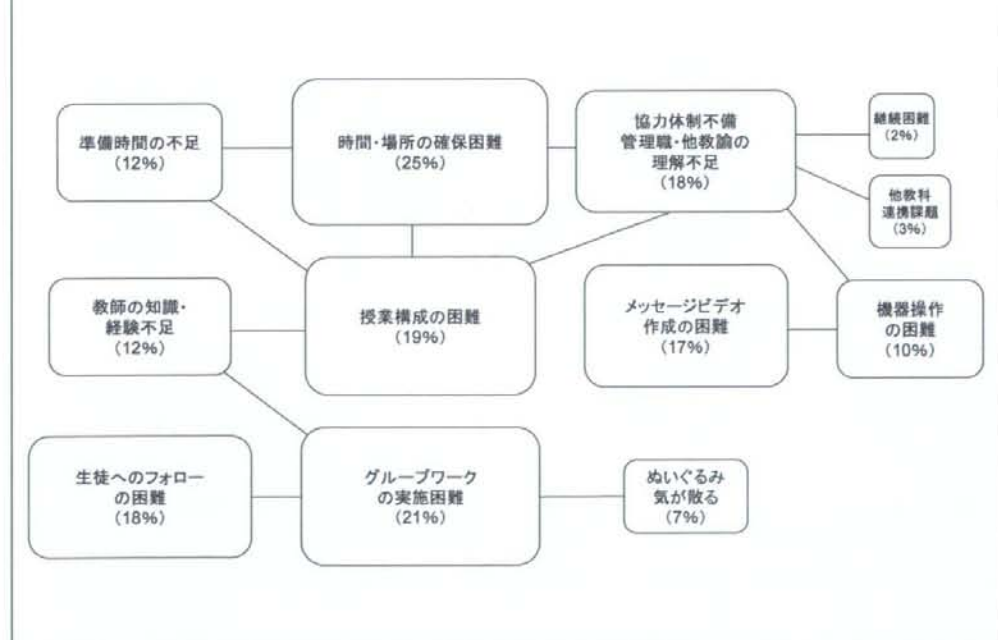


図28.WYSH 教育に対する感想(中学校:101校)困った点



## (5) WYSH 教育を実施した教師の感想 (自由記載)

WYSH プロジェクトに参加し WYSH 教育を実施した先生方に対し WYSH 教育を行って「良かった点」「困った点」を尋ねた (自由記載)。これらの自由記載の質的データの帰納的内容分析を行った。但し時間的な制約から、今回は初期段階の分析結果の概要のみを掲載すると定める。

### ◆高校2年生に対する WYSH 教育実施のコメント

2008 年度の WYSH プロジェクトへの参加高等学校は 53 校で、授業実施状況に関するアンケートの回答率は 100%であった。

## 1. 良かった点

### 1-1 教師にとって良かった点

#### ① 教材が使いやすい (28 校 : 52.8%)

代表例：パワーポイントでの主要講義は、とてもわかりやすく、性のネットワークも、生徒達はしっかりとらえて理解できていた。教科書 (保健) の範囲外のこと (クラミジア・世界のエイズ状況・徳島の実情) には特に反応が強く、身近な問題としてとらえるのには、とても良い教材だった。/講義、グループワーク、メッセージビデオと変化に富んだプログラムで、とても集中してとりくめていた。/映像 (パワーポイント・ビデオ) があってわかりやすかったという感想が多かった。指導する側も教材に沿ってできたのでありがたかった。/主要講義の際、最初はざわざわしていた生徒が、次第に真剣になっていく姿に感動し、研究されている教材のちからを感じた。主要講義のスライドは事務局から配布され、説明の方法も研修で細かく学ぶので自信を持って説明することができた。/送っていただいた資料は、とても使いやすく展開しやすかったです。/プログラムに沿ってやるので準備の負担が軽減された。/スライドがあったのでそれに従って授業をすればよいという点/実施する教員のスキルに関係なく、一定レベルの効果をえられる。生徒にも教員にもわかりやすい教材。/パワーポイント、ビデオの教材があるからこそ、取り組みやすかったです。/教材、流れができていたのでその点はやりやすかった。(1 コマ目) /「身近なこと」としてとらえさせるための様々な工夫 (雰囲気、環境づくり、心を込めて準備すること、先生方の協力をおおぐこと、自分の生きてきた過去や未来を考えさせ、大切にす気持ちと呼び起こすこと)などは普通の授業ではついおろそかにしてしまいがちな部分であるので、生徒の心に響く教材だったと思います。/教材があって、授業がやりやすかった。ビデオが良い (クラミジア・中絶) / ・プログラムとして、パワーポイントやビデオなど一定の教材や手続きがあるので、どの教員でも一定以上のレベルで指導することができる。・性教育といっても、生々しい内容や画像を用いるものではないため、生徒も教員も心理的抵抗を感じにくい。/ ・京大作成のパワポを基に、本校にあうように若干 modify したものを利用して、単々と実施できたところ。・ウケ狙いの画面では (例: 痛さの表現)、生徒たちが笑う反応をしたところ。/新しいデータがある。流れに沿って行える / 実態を把握し、それにもとづいた指導内容であること。・教材がとても使いやすく指導効果があること。・パンフレット等が実際の県名で明記されていること。/資料が整っている上に研修会できちんと学習させて頂いているので、ながれの良いまとまった授業となり 300 余名の生徒が集中して聞き参加してくれました。/ ・分かりやすいスライドなので説明しやすい。/ ・WYSH プロジェクトの教材パンフレットが生徒に好評でした。/ ・構成化された内容がやりやすい。・EBM に基づいたプログラム内容というのが説得力があり実施に結びつくことが易しい。/パワーポイントが用意してあったので負担がなかった。/ ・説明 (パワーポイント) ・ビデオ・実験というように、生徒が飽きない工夫をしていた。/ ・講義、グループワーク、実験、ビデオなど内容が充実しており生徒の興味を最後までひきつけることができた。/パワーポイント、ビデオの教材があるからこそ、取り組みやすかったで

す。/・WYSH教材を使用することにより、身近な問題として認識させることができた。  
/・担任の力量によって結果が大きく左右されることは、おそらく無く誰が行っても安定した結果の得られるプログラムであるように感じた。/・WYSH教材のパワーポイントやビデオの配布があり非常に助かりました。/WYSH教材のパワーポイントとビデオは、大半の生徒が真剣にし視聴し、受けとめたように思う。保健や家庭科の授業だけでは、あれほどインパクトが強く、詳しくは発信できない。

## ② 協力体制が得られた(作れた)(18校:34.0%)

代表例:教師側としては今回保健の授業で実施したので準備は保体科の教員と養教でしました。新任の先生、ベテランの先生が意見を出し合い、指導案やワークシートを作成したこと、なかなか教科の枠をこえてすることがないので、本当に良かったです。/・養護教諭が中心となって進めた取り組みであったが、多くの賛同者(大半)を得られたこと。又、1つのものをチームで創り上げていくことができたという大きな達成感を感じることができた。/・体育教師の協力により、グループワークを各クラスで実施して頂くことができ、より、理解(生徒の)が深まったこと。/自分は保健体育課の教員ですが、養護教諭の先生だからこそ作りだせる雰囲気がある(ぬいぐるみやキャンドルはやはり急には…)し、やわらかな言い方、共感の仕方などはさすがだと思います。T・Tが理想だと思います。/T・Tがよかった。(2人という心強さ、授業に深みが出る)/・学級担任・生徒指導部教師の理解と協力のもと、みんなで取り組むことができた。/年度初めから、2年の行事計画に入れ、学年の先生方に協力を依頼し、事前研修会を経て、実施した。/メッセージビデオ作成にあたって、多くの先生方に協力してもらいWYSHの考え方を全校の職員に浸透させてゆくことができる。3年継続すると1つの流れが出来るように感じている。/・クラス担任を中心とした教員が授業を担当することができるうえ、2年生の学年団の教員全体で授業に関わるので、例えば、パワーポイントの説明などは保健体育の教員が行い、グループワークは主任の教員が行うなど、役割分担を行いながら授業を行うことができる。/・担任及び副担任が力を合わせて準備、実施することができた。/はじめの計画の時、担任会等でWYSH教育の話をして具体的に進めていく中でとても不安そうな先生方がだんだんと自信をつけ、保健学習会を楽しんで行ってくれる先生方が増えたのが今年の印象的なことでした。そして先生方の方から進路、進学に関することが中心のロングホームルームをこのような思春期における大事な事、道徳的なことも含めて生き方について話せる時間が本当は、一番大切なのではないかという感想をもらい今年度、保健部中心から担任中心になって進めることができた。/実施学年の先生方に協力をお願いしやすく、これからも継続していけると確信しています。/そしてWSHプロジェクトを実施することに多くの先生方(校内、校外共)に興味を持っていただき、多くの先生、生徒とWYSHプロジェクトを通してつながることが出来ました。/・学級担任・生徒指導部教師の理解と協力のもと、みんなで取り組むことができた。/・WYSH教育の実施に伴って、職員研修や授業者研修、各クラス担当者打ち合わせ会を行ったので、WYSH教育の趣旨が十分理解され、「性教育」について考えるよい機会となった。・担任と副担任と保健体育の教師3人が協同で行う授業が初めて実施でき、教師にとっても様々な勉強になった。/・従来は教師VSクラスという形式で実施することが多かった性教育も、グループ形式で行うことができると分かり、大変勉強になった。/・生徒達の様子を把握するため正副担任の2人体制で授業に取り組んだ。(授業をしたのは正担任で副担任はサポート役として)/・担任及び副担任が力を合わせて準備、実施することができた。

## ③ 自主制作の教材(メッセージビデオ)が効果的であった(16校:30.2%)

代表例:メッセージビデオは、映像と言葉、BGMが重なると生徒の心を揺さぶれるんだとあらためて、実感しました。/最後のメッセージビデオをみて、何かを感じ取ってくれた

生徒が多く作りがいがありました。/本校の教員が持ってきてくれた写真などをもとに、メッセージビデオを作成した。教師という一面だけではなく、女性として母として生きてきた姿をみせたことは、生徒にとって、新鮮だったようだ。感想の中に、「赤ちゃんを産むのは恐いと思ったけど、〇〇先生の姿をみて、母になりたいと思った。」などの意見がでた。(女子は、意見がたくさんでた)/・先生からのメッセージビデオはとてもよかった。(性教育をする際続けていけたらと思う)/・メッセージビデオに感動してくれた/オリジナルビデオに感動していた。/ビデオが「命の大切さ」や「人に支えられているんだ」というような感動を与えられたのだと思う。/メッセージビデオ etc を通して、担任一生徒間の壁が1枚取り除かれるような感覚がありました。/・“こういう機会をもっとほしい” “メッセージビデオ感動しました” e t c 感想文に記入してくれる生徒が多かったこと。/・メッセージビデオを見て「自分を大切にしたいと思った。」「1日1日を大切に生きていきたいと思った」「心に強く残った」などの感想が多くあった。/・メッセージビデオについても、生徒の集中が途切れることなく、内容も適切であったと思う。/・メッセージビデオから各自、何か受けとめ、伝わったものがあった。感動している生徒が多く、現在の人間関係のありがたさを感じているようだった。/メッセージビデオが生徒に好評であった。/特に水の実験、メッセージビデオ、〇×クイズ、携帯の「ばか」「ごめんさい」のビデオは、反応が良かった。/・メッセージビデオでは、授業の中で一番一生懸命に参加していたように思われた。/・メッセージビデオを見せたことで生徒との距離がより近くなり話しかけてくれる生徒が増えた。

#### ④ 性教育にとどまらない効果 (16校: 30.2%)

代表例: 「性教育」を大きな「人生」ととらえ、自分を見つめなおさせる方向付けができていた。/とても明るい雰囲気の中で「性教育」のイメージが一新させられた。/・人間としてこれからの生き方を考えさせる人間教育が性教育にもつながっていくのだと感ずることが出来た。/・実施後数人の生徒から「よかったよ」と声をかけられ、感想文にも「これからは人と人のつながりについて大切にしていきたい」とのコメントがあったこと。・実施後、学年の生徒の雰囲気が明るくなったこと。・生徒の口から“WYSH”という言葉が聞かれるようになり、教育の浸透を実感できたこと。/・担当の山崎先生の準備が大変でいねいに行われ、更に先生の熱心さが生徒一人一人に伝わった。・日常の生徒一人ひとりの対応をふまえての実施になったので、生徒に意図が良く伝わり一生懸命に取り組む、楽しんで行っていた。・普段コミュニケーションが出来ていない状況なので、コミュニケーションの大切さも伝わったと思います。/・両親がいない生徒が「自分は愛されてきた」という感想を書いてくれたこと。・両親とうまくいかず、不登校だった生徒が、「親って結構大変なんだ」「進路について、もっと考えようかな」という感想を書いてくれたこと。/・性行為の危険性や生きることについて押し付けではなく、自らの気づきを促すことができた。/・メッセージビデオを見て「自分を大切にしたいと思った。」「1日1日を大切に生きていきたいと思った」「心に強く残った」などの感想が多くあった。・今までの性教育は心のどこかで抵抗があったがWYSHは明るく楽しく前向きに自分自身に取り組めた。・生徒の反応を見て、こちらも感動させられた。/本校で実施している総合的な学習の時間「人となる」の生と性の教育に合ったプログラムであり、生徒に今後の自分の生き方を考えさせる良い機会であった。/苦勞もあつたが生徒の感想文を読むと胸に「ジーン」ときた、が多くみられた。この時間を経て大きい成長がみられた気がします。/・感想の大半が、“プラス”として捉えてくれており、WYSH プロジェクトが目指しておられるところが少なからず伝えられたと感じた。/生徒が自分たちで答えを見つけるといふ授業は、今までなかったのではないのでしょうか。普段の授業は、教師が生徒に知識を教えるということが多く、生徒の目線で授業が出来たことはとても良かったと思います。

グループごとに”お父さん””お母さん”の気持ちになって、子供の成長過程を経験できたことは、生徒にとってこれからの生活に何か変化をもたらしてくれると思います。WYSH教育を終えた後、何人かの生徒から、”今までになかった授業で楽しかった。””自分も同じように成長してきた中で命は大切にしないといけない”という感想くれました。/・教師が真剣（本気）に取り組むことにより、生徒も学習課題に真剣に向き合い、その真意を汲み取ってくれたこと。・教師の思いを伝えることにより、生徒の感性を揺さぶることが出来たこと。/「性教育」だけでなく「人間基礎教育」という大きな取り組み/性教育の観点だけでなく社会全体の傾向や正確なデータが示せること。生き方として注目させられること。自分のこととして将来に重要にかかわること。人権教育も含まれていること/・中絶などの悲惨な面を強調する一種の脅しのような性教育はでなく自分がどう生きていくかを考えさせるすがすがしさのある授業手法が非常に良かった。

⑤ 生徒との距離が縮まった(9校:17.0%)

代表例：授業に入ることによってその生徒のクラスでの様子も分かるし、それ以外の生徒とも近くなれたような気がします。/・メッセージビデオを見せたことで生徒との距離がより近くなり話しかけてくれる生徒が増えた。/打てば響くように全員が反応するなど、担任の言葉が浸透しやすくなった気がする。メッセージビデオ etc を通して、担任-生徒間の壁が1枚取り除かれるような感覚がありました。/自分自身最初はこの授業に抵抗があったが、生徒に大いに助けられ彼らとの距離も縮まったと感じている。/保健室に自ら相談に来る生徒を毎日相手にしているとマイナス的な要素ばかりが目についてしまうが、授業で見ていると大多数の生徒は、普通に一生懸命生きている生徒だと実感しほっとする。/子供たちの意外な一面を見れたり、日頃こんな風に考えているんだということが目に見えて分かりました。/“実は悩んでいた”とカンジダでひとり悩んでいた生徒が相談にくるきっかけとなったこと。/・今まで保健室を利用したことのない生徒が、放課後フラッと立ちよって性に関するギモンを話してくれた。/・自分自身、生徒のことをこれまで以上に「かわいい」と思えるようになったこと。

⑥ 学校/生徒の事を知れる・現状を把握できる(8校:15.1%)

代表例：アンケートにより生徒の実態を知ることができ、それに沿った授業ができたことがとても良かった。事後のアンケートによる評価も、不安ではあるが楽しみで、次回に生かしていきたいと思っている。/・授業者側も普段、生徒が考えていることが垣間見れた。/子供たちの意外な一面を見れたり、日頃こんな風に考えているんだということが目に見えて分かりました。/事前アンケートの結果を重視し、生徒の実態に添った課題提起ができた。/・実態を把握し、それにもとづいた指導内容であること。/・生徒が考えていることを知ることができた。/生徒のいつもとちがった面がみられた。/・授業を通してだけでは見ることのできない生徒の様子をみることができよかった。(おとなしい生徒が意外と積極的であった。)

⑦ 授業がやりやすい(5校:9.4%)

代表例：・構成化された内容がやりやすい。・EBMに基づいたプログラム内容というのが説得力があり実施に結びつくことが易しい。/夏休み研修を受けてどのようにやればよいか自分なりに理解できた！目的がわかりやすく、本校の「人となる」という総合学習と目的とするところが同じでわかりやすい！/・プログラム自体がしっかりしている。流れに沿ってやればよいので担任の負担はなかった。/プログラム本体のバックボーンがしっかりしているので担任が背負い込む負担が少ない。/学校の取り組みとして、1年、2年、3年、と各学年への性教育を2学年で取り入れたことは保健の授業のからみとしてスムーズに出来た。/・今まで自分で性教育を実施したこともあったが、「これでいいのか？」と不安に思うことが多かったが、WYSHは自信を持って行なうことができた(目標が明確

なのでおれなと思った)・今までの性教育は心のどこかで抵抗があったがWYSHは明るく楽しく前向きに自分自身が取り組めた。

⑧ 教師にとってとてもやりがいがあった(5校:9.4%)

代表例：感想をみると、それぞれの生徒が何かしら感じてくれたようで嬉しかった。/・休みがちで人間関係をうまく築けない生徒(心配な生徒)の感想に「むずかしかったけど、勉強になった。この授業を受けて良かった」とあり、この授業で得るものがあったのだと思いき嬉しかった。/1つのものをチームで創り上げていくことができたという大きな達成感を感じることができた。/・今年度も、日常から生徒に関わりの深い養護教諭が、授業の主要講義部分を担当し、生徒の興味、関心を引くことができ、実施者としても満足のいくものであった。/・生徒の反応を見て、こちらも感動させられた。

⑨ 教師の意識・知識向上(4校:7.5%)

代表例：・担任自身が勉強になった。/・私自身、保健体育の教員なので、性教育は毎年行っているが、とてもためになった。/作成は大変だったが作成することも私自身の勉強になったし、何よりも思い入れの深い授業になった。/担当者の意気を高めることにつながり、生徒へも浸透し、楽しく取り組むことができた。

## 1-2 生徒にとって良かった点

① グループワーク(生徒同士の話し合いの場)が効果的であった(21校:39.6%)

代表例：クラスでは担任が指導者となりグループワーク(男女別)を実施した。このことには生徒は新鮮な感動を覚えたようです。/グループ討議は熱心に行っていたし、後のまとめや感想にも素直に理解を深められた様子が現れていた。/・興味、関心をすごく持ってくれ、グループワークの意見交換も活発であった。/・大切なことを伝えるというグループワークでは、直接伝えることの意味や、自分に置きかえて考えられる題材により、生徒に気づかせ、気持ちを引き出すことができた。/グループワークをする中で、とても良い表情をしている生徒の笑顔が印象的でした。/グループワークでは、いろんな意見が聞けてよかったという生徒の反応が多かった。普段見ることができない生徒の様子がわかった。/・ワークシートやグループワークで他の人がどのような気持ちなのかなど普段なかなか知れないことが生徒同士知れたのがよかったと思います。/生徒の話し合いは楽しそうであった。/・グループワークという形式も普段あまり行われていなかったようで、生徒同士が話し合い、意見を出し発表するということにとまどいよりも興味を持って取り組めたと思いました。/・グループ編成を工夫する事により、普段会話しない人とも会話出来たこと。/グループワークが予想以上に盛り上がり、生徒も「とても楽しい、友人の意見がきけてよかった」など肯定的な感想をもって来てくれた。/グループワークをしたことがない生徒たちがグループワークで「人の意見を聞けてよかった」「自分も言えた」と感想にかいてくれていたことが印象的でした。/グループワークで考えることが出来たことや、他の意見を聞くことが出来てよかった。/・性のことに関して生徒たちがリラックスした雰囲気でありとじっくりお互いに話をし、意見が交換ができたこと(生徒にとって新鮮だったようです)/・日頃はあまり話さない「性」について仲の良い友人と話せたこと。/高校生にとってはとても関心が高い話題なのに、ふだんはオープンに話し合うことが難しい。今回生徒間で活発な意見交換ができたことを、生徒たちがとても満足している。/知識注入ではなく、生徒たちが自分自身の意見を語る場であったのがよかった。おそらく本音で話せていない子も中にはいると思うが、それでも友人がどう思っているか、周囲の声を聞くことができるのが、きっと大きな意味を持つと思う。/生徒間でお互いの考え方などを理解する良い機会だった。/グループワークで「どうやって告白して



ほしいか。」というテーマで話をした。女子生徒から男子生徒へ、男子生徒から女子生徒へ告白するならどうしてほしいかというのを伝える機会になった。(お互いに告白するならどうしてほしいかというのを伝える機会になった。(お互いに、告白するなら直接じゃないと付き合えないと言っていた。)/・単に知識を教えるのではなく、イメージビデオやグループ別活動により、生徒は主体的かつ本音で課題に取り組めていたと思う。/グループワークで話し合いが持てた

#### 生徒の意識・知識の向上 (14校:26.4%)

代表例: グループ討議は熱心に行っていたし、後のまとめや感想にも素直に理解を深められた様子が現れていた。/<性感染症>・性感染症について世界から身の回りの現状を知ることが出来たという意見が多かった。また新しい知識や今までの知識を確認することが出来たという意見も多かった<人間関係>・直接相手と話す大切さを再確認したという意見が多かった。またこれからの人間関係作りに対して周りの人や自分を大切に時間をかけて丁寧にしていきたいと考える生徒が多くいた。/今まで本校で実施していたエイズ予防学習会と違ってしたのは「自分にも関係あるんだと思った」「自分で予防することが大切なんだと思った」という感想が多かったことです。/徐々に生徒1人ひとりの問題としてとらえる者がでてきた。/生徒たちが性的問題に対して真剣に向き合うことができたこと。/・生徒が真剣に学習に取り組んだ。・性教育を簡単に考えることができた。/・生徒は思っていた以上に深い内容で、間違った知識を持っていたことが分かって良かったという意見を持っていた。/性に関する知識を十分得ることができた。特にDVDや実験によって身をもって実感できたものと思う。/生徒に改めて性について考えさせる機会となった。/・両親がいない生徒が「自分は愛されてきた」という感想を書いてくれたこと。・両親とうまくいかず、不登校だった生徒が、「親って結構大変なんだ」「進路について、もっと考えようかな」などという感想を書いてくれたこと。/・「性感染症など自分には関係ないと思っていたが、身近なものに感じた」などの感想が多くあった。・「クラミジアがあんなに多いとは知らなかった」などの感想があり実態が分かったようだった。・メッセージビデオを見て「自分を大切にしたいと思った。」「1日1日を大切に生きていきたいと思った」「心に強く残った」などの感想が多くあった。/性教育の充実を力を入れなければならないと感じ、十分に生徒達への興味関心を集めることが出来たのではないと思われる。/・普段なかなか学校の授業として話せないことについて、改めて時間をとって考えさせ、それを発表させたことで性的問題を大切なこととして認識させることが、少しできたような気がした。/・性に関する知識を分かりやすく伝えることができた。・普段何気なく行動していること話していることに対してしっかりと考える機会となった。

#### ② 生徒が受け入れやすい(分かりやすい)授業(13校:24.5%)

代表例: 生徒達は熱心に聞いていた。ふざけたり、茶化したりすることがなかった。教材は生徒がとても理解しやすいものだった。中絶のビデオがしんどいものでなかったのが女子が見ても大丈夫だった。(以前に勤務していた学校では、家庭科の授業で中絶のシーンがあると必ずしんどくなって、保健室に来る女子が一人はいたので)情報実践室という教室を使ったので、前に大きなスクリーンがあるが自分達の机にもモニターがあって、みんなそれを集中して見る事が出来、真面目な生徒は特に良かったようだ。/性教育というと少し構えてしまうところがあったが、そんなことなく取り組めた。生徒たちも前向きにとらえられていたと思う。/フェノールフタレイン液を使用して感染実験を行い生徒の関心を多くに得た。/パワーポイントや実験を行い生徒にわかりやすい授業を展開できた。/視覚と体験(実験を含む)をうまく利用した授業だった/・場面設定で、白布・花びん、ぬいぐるみを使用する事により、やわらかく・優しく和やかな雰囲気の中、授業が出来たこと。(生徒の心理状態もよめた)/・教師が真剣(本気)に取り組むことにより、

生徒も学習課題に真剣に向き合い、その真意を汲み取ってくれたこと。/・場面セッティングで白布花びんぬいぐるみ等でリラックスした雰囲気をつくりだし、いつもの授業ではないことを生徒に印象づけた。・主に授業を行った養護教諭と生徒とのそれまでの人間関係が強く、生徒が非常に素直に自分の意見をのべる雰囲気があった。/・とても良く集中して参加していた。/普段とは違った雰囲気で行うことができ、生徒の興味、関心を引き出すことができた。パワーポイントやビデオを豊富に使用したため、生徒にも分かりやすく、ぐいぐいと授業内容に引き込まれていたようだった。内容に関しても段階的にスポットを当てたりしながら進めていくので、一連の流れや関連性がつかみやすく、何について、なぜ、今この内容を勉強しているのかが良く分かっていたようである。/生徒の感想も受けてよかったという感想が多かった。/講義、グループワーク、メッセージビデオと変化に富んだプログラムで、とても集中してとりくめていた。/生徒の感想をみると大変充実したものとなった。

### ③ 積極的に参加できる(9校:17.0%)

代表例：グループ討議は熱心に行っていたし、後のまとめや感想にも素直に理解を深められた様子が現れていた。/・生徒が「人の目を気にせずに」活発に話していた。/・生徒達は積極的に取り組んでくれて質問にもよく答えてくれていた。/・普段の講義型の授業とは違い、どの生徒も積極的に参加していた。/真剣に考え積極的にとりくめていたと思う。/2 学年 3 クラス男女混同で実施した。養護教諭の事前準備が大変整っており、生徒達の興味、関心をストレートに出せる雰囲気づくりが出来て活発に意見や感想を述べられた。また、フェノールフタレイン液を使用して感染実験を行い生徒の関心を多に得た。/・興味、関心をすごく持ってくれ、グループワークの意見交換も活発であった。/先に実施したクラスの生徒から、話を聞いて、この授業を楽しみにしていた生徒もいました。/おとなしい生徒が意外と積極的であった。

### ④ 身近で具体的なデータでわかりやすい(9校:17.0%)

代表例：パワーポイントでの主要講義は、とてもわかりやすく、性のネットワークも、生徒達はしっかりとらえて理解できていた。教科書(保健)の範囲外のこと(クラミジア・世界のエイズ状況・徳島の实情)には特に反応が強く、身近な問題としてとらえるのには、とても良い教材だった。/映像(パワーポイント・ビデオ)があってわかりやすかったという感想が多かった。指導する側も教材に沿ってできたのでありがたかった。/WYSH教材のパワーポイントとビデオは、大半の生徒が真剣にし視聴し、受けとめたように思う。保健や家庭科の授業だけでは、あれほどインパクトが強く、詳しくは発信できない。/エイズ、中絶、性感染症などについて、実際に調査された数字に驚きをあらわし、生徒達自信の身近な問題としてとらえられたように感じた。/・クラミジアのビデオや牛津高のデータは興味深く聞いていた。/・自分達の住んでいるところ(和歌山県)や自分達と同じ10代(中・高校生)ではどうか?ということが身近に感じられた生徒が多かった。/わかりやすいパワーポイントなので、生徒の理解を得やすかった。/・WYSH教材を使用することにより、身近な問題として認識させることができた。/・性のことに関してしっかりと情報を与えられたこと

### ⑤ 男女別授業の利点(2校:3.8%)

代表例：男女間の考え方の違いなどを知ることができた。/・男女に分かれたことでリラックスし安心して聞けた生徒が多かった。

## 2. 困った点

### ① 授業構成上での困難(25校:47.2%)

代表例：・〇×カードを上手く活用させることができなかった。/準備の段階では、生徒の実態と授業があっているのかうまく伝わるかが、非常に不安だった。/またメッセージビデオをどう編集し、最後をどうまとめ生徒に伝えるかに大変時間を費やした。また今年度は2時間目の授業を担当の先生にお願いしたが、その研修会の時間の確保と授業内容(進め方)をイメージしてもらうことが難しかった。/授業を行う形式、教室確保など環境面で課題が多く残ったと思います。/時間配分が難しかった。/時間配分/少々時間が足りなかった。/スライドの内容は、どこまで変更して良いのか迷った。内容がたくさんあり、焦点の当て方が難しい。/・時間配分 1コマ目が少し余り気味で2コマ目があと10分欲しいという気がした。/テーマから離れているグループもあり、授業時のまとめに少し無理があったと思い反省しています。/・担任が担当であったために「特別感」を出すことが難しく通常の学校生活の延長のようになってしまった。/あれもこれも伝えたいことはたくさんある中でテーマを絞って指導案を決めるまで多くの時間を費やしました。/・今回、家庭科枠の中での実施となりましたが、教科の枠の中では、この様な授業はやりにくい。授業を評価するとなると、難しい面があります。シラバスの中で計画に入れなければならないし、指導するのではなく「自分で考え、気づく」というあり方はLHRの時間での実施が望ましいと思います。又、担任が担当することで、より、生徒達の思いに気づき、WYSH教育をひき続き、生徒とのかかわりの中で、生かしていけるのではないのでしょうか。/・授業の進度が速すぎる・内容の制限/授業担当教員が個人的に強調したい点や、工夫したい点について、WYSHの内容に割り込ませることが困難であった点。授業時間等の調整。/今後の授業形態をどのように行っていくか。/アンケート結果に特殊性が強く現れた昨年はやりやすかったが、すべてにおいて全国平均的な今年はどこに(何に)ポイントを当てたらよいか困ってしまった。/・主要講義を行うのが、かなり時間がかかってしまった。生徒のペースに合わせて、会話をしながら行ったため、50分ギリギリであった。もっと時間をかけゆっくり行ったほうが良いと感じた。/・フェノールフタレイントテストが、変色した生徒の数が少なく、インパクトにかけてしまったこと。・部屋の雰囲気を変えようと、ろうそくをテーブルに置いたが、「ろうそくの意味がわからない」と感想に書かれてしまったこと。/1コマ目(危機)から2コマ目(夢・予防)へのつながりをどうやってもっていきが難しかった。/・グループワークでの話し合いは、まあまあ活発であったが、性感染症や中絶に関することでの深まりはみられなかった。/当初、自分のクラスのみを対象に授業を行う予定だったのですが、学校の日程上の都合で学年全体を対象に行うことに変更されました。そのため準備していたメッセージビデオにも大幅な変更を加える必要が生じ、また、グループワークも実施が不可能になるなど個人的なことですが多少困ったことがありました。/パワーポイントに時間をかけた為、ダンス、ロールプレイは、カットしたので仲間を意識させるまでには至らなかった。/パワーポイントにいかにか集中させるか?/大修館書店の教科書を使っているが、性感染症やエイズに関しては1年生の「生活習慣病の内容の次に行い、(喫煙や飲酒など)2年生で「思春期の健康」の内容を扱うため、今回で性に関する授業は3度目ととらえることもできる。系統的に学ばせるためにも内容をまとめていきたいと考えている。(何度行ってもいいものだとも思うが…)

### ② グループワークを行う上での困難(24校:45.3%)

代表例：グループで発言の少ないグループがあったが、周りの状況が良く、少しずつ意見がでるようになった。/時間の関係で一斉の合同授業となった。6クラスを1度にグルー

ワークをさせるのにはかなりムリがあったが、なんとか、なごやかな雰囲気気で6本のしあわせの木を完成させた。(当初は1コマを合同で、2コマ目をクラスにもどして、メッセージビデオはまた体育館で…と計画していたが、移動の時間がかかりすぎて2コマでは終わらない…ということで全てを合同で行うことになった。) / クラスによって、グループワークが積極的に行われた所と、そうでないクラスがあったため、クラスによって内容を変えることをしてみたら良かったと思う。 / 男子は、グループワークが深まらないと感じた。 / グループワークのテーマ決めに苦労した。1時間目の授業とどう関連を持たせるか難しかった。 / ・グループワークを行うのが初めてだったので、複数の先生に助けて頂かないと話が進まなかった。 / 生徒たちだけではなかなか話を進められないので、補助に入る先生の数が重要なこと / グループによってはかなり T.T で入る先生が声かけをしていかないと誰も話さずだんまりのグループもありました。 / ・グループワークでは、男子のおとなしい層が参加しきれてなかったのもこの層への工夫が必要。・活発な意見交換は良いが、興奮状態でめりはりをつけなければいけなかった。 / テーマから離れているグループもあり、授業時のために少し無理があったと思ひ反省しています。 / ・活発なグループとそうでないグループに差があり、どうしても活発なグループを中心に授業を進めてしまった。 / グループワークの内容を決めるには悩んだ。 / ・限られた時間の中で性に関して私自身が生徒に伝えたいことと、グループワークの事例で紹介されたテーマとの間に少し開きがありテーマを決める際に悩んだ。 / ・グループワークの持ち方。・積極的に意見を出させること。・優等生的意見にまとまる。 / グループワークは一部、男子がふざける場面があり、仲の良い者が集まらないように配慮したり、方向性をまちがえないように支援する必要があると感じた。 / ・より有意義な話し合いの場を設定するための生徒同士の人間関係作り。・初めて男女混同で授業を行ったが、前年に比べて、授業時間に確保と教員配分は容易になったが、肝心な生徒の様子、例えば活発な意見や反応などが出にくくなったように見受けられた。 / ・恥ずかしさがあるのか茶化したり、真剣に取り組めていない生徒(男子)が数名おり、その班はあまり活発に話し合いが出来なかったように思う。 / 1 クラスだけ男 20 人女 6 人のクラスがあり、男女別の班にしたが、発表がうまくまとまらなかったり、盛り上がらなかつたりした。 / ・グループワークは仲良しグループで組んだため、話し合いをせず、おしゃべりをしてる生徒もいた。そういう生徒の声かけが難しかった。 / グループワークは今年はいかづなかつた方がよかつたという先生もいました。生徒の実態を考えて省略するのもありでしょうか? / ・男女ともグループワークが十分にできなかった。時間不足もあるが、提示の仕方があいまいであった。 / グループワークの活発化。 / ①グループワークについて・指導案を考える段階では、最初は課題提供型グループワークを取り入れた内容であったが、担任や保健体育の先生など他の先生方は、本校生徒で実施するのは難しいという意見ばかりであった。私自身も同意見であったが、どうしても、グループワークをする中で生徒たちに考えさせ、意識変容のきっかけづくりができれば、という思いがあった。少人数で各グループに先生が一人入り、生徒の言葉をうまく引き出しながら意見交換できるように、担任、副担任、保健部長等多くの先生方に協力してもらおうと考えていた。しかし、今までにグループワーク的なことを全くしたことがない生徒に対し無理矢理実施し、授業に参加しなくなるよりは、しっかりと基本的知識を提供して、生徒一人一人の中で考えるきっかけづくりをした方がいいのではないかと思ひ、グループワークの時間を削ることにしました。 / ・班分けは、男女別グループで日頃、仲の良い者同士で組んでみたが、それでもやはり、欠席者が出たり、うちとけられない雰囲気班もあり、難しさを感じた。

### ③ 学校の協力体制・管理職・他教員の理解不足(15校:28.3%)

代表例：養護教諭一人が準備に追われるということ / ・年度途中での計画、実施で会った

ために、学年中心とした取り組みが出来なかった。・体育科職員に対して、説明、納得させることで精一杯であった。/学校全体の取り組みにしなければ、負担が養護教諭1人に集中してしまう。/・体育科教員がめんどくさいという態度を前面に出していたこと。

・家庭科の先生と意見が合わなかったこと。・WYSHの授業で、養護教諭が保健室を離れた際に、大怪我があり、居合わせた教員から非難されたこと。/全教職員に関わっていただけのような形にしたかったのですが、その点は難しく一部の先生だけになってしまったように思います。/2学期は学園祭・修学旅行等大きな行事がたてつけにあり、教材づくりの協力者を得にくい状況で、とても苦しかった。メッセージビデオづくりでは、映像をつなげたり、音を入れたりの技術的な面のサポートも忙しいような教員に頼みづらく、コンピューターに詳しい放送部の1年生に協力してもらい完成した。/保健体育の教諭が実施するのですが、教科内でも協力体制が得られにくい。/・教師の多忙化の現状での取り組みは、教員側に必要性を実感してのぞまない限り、継続的に行う上で困難を生じる可能性がある。/・京都で研修を受けた2人の職員を中心に準備を進めたが、もう少し多くの先生方の、意見を取り入れた教材づくりが出来たらよかったと反省している。来年度は、5~6人のWYSHプロジェクトチーム(校内メンバー)を組織し、より多くの先生方を巻き込んで、授業の企画、準備や実践を積み重ねていきたい。/・主要講義、グループワークとも複数の教員で担当したが、教師の熱意や資質により指導に差がでる。/養護教諭や保健部、家庭科教員がこういう学習は大切であると考え、今回参加させていただいたが、学校内の全教員の間では、こういう性教育に関して、意識の差がかなりあると感じている。まだ、学校全体の中で話題にした(なった)こともない。今後、どのように取り組んでいこうかと検討中です。/いわゆる一般教科のものにとっては専門外の分野であり再考の余地がある。/・準備が山崎先生が大変であったので、もう一步の協力を必要性を感じた。/結論がきめられているように思われて違和感があった。性に対して固定観念があるように思われる。/・昨年度と同様に、ポスターのグラフ部分と表現に納得がいかない教員からの強い意見(大阪が多いという根拠としては説得力のないグラフであること、グラフの内容が必ずしもメッセージの裏づけになる数値ではないゆえに、グラフの意味がない等)があり、校内運営委員会で検討のうえ、グラフが小さく見えにくいという点も考慮してポスターの掲示方法に工夫を要した。ポスターの主旨は理解しているが、内容が効果的かどうかとなると、グラフ部分を含め改善が必要かと思われる。

#### ④ 授業時間・場所の確保(13校:24.5%)

代表例:198名の学年(6クラス)対象の授業であったため授業確保がむずかしく、クラスによっては、1コマめと2コマめの間があいてしまった。1コマめは体育館で学年集会の形で講義をしたが、後ろの方の生徒には画面が見えなかった部分もあったようで、今後は考えていきたいと思った。/・WYSH教育の授業は1コマだったのでゆとりがなかった。もう少し時間がとれれば生徒からの声をもっとひきだせたと思う。/2学年はインターシップ等の学年行事も多く、予定していた日に授業やアンケートを実施できず、日程調整が大変でした。/もう一步踏み込んだ話をしたいと思ったが、時間の関係で難しかった。もう一時間、時間がとれれば具体的にどうしていけば、よい人間関係を築いていけるのかを生徒どうして考えていける場が持てたのにと残念でした。/スクリーン・プロジェクターを使用できる広い部屋がない。(教室にカーテンがなくプロジェクターが使えない)部屋がある程度広くないと質問カードを記入しにくいのではないかと思った。/ウィンタースポーツの生徒が公欠でいなくなる12月実施となってしまう、対象者が減ってしまった。(私の計画ミス)/WYSH教育のために3コマ以上の授業を確保できなかった。そのため「O×ゲーム」「オリジナルメッセージビデオ」はできなかった。テーブルクロス、花、ぬいぐるみ等は視聴覚室の構造上困難、予算もないためできなかった。授業時間の確保、予算

等の問題は、私自信のモチベーションが高ければ可能であったのが反省点である。/もう少し時間をとって理解させたい。/当初、自分のクラスのみを対象に授業を行う予定だったのですが、学校の日程上の都合で学年全体を対象に行うことに変更されました。/今年には女子に落ち着かない生徒がいたこともあり広いスペースで集中させることができなかった。時間不足もあるが、提示の仕方があいまいであった。/時期のしぼりがある。3学期末の頃に取り組みると授業等の配慮がいらぬのでやりやすい。/9月はカーテンを閉めると暑くて大変だった。(クーラーがない) /スクリーン・プロジェクターを使用できる広い部屋がない。(教室にカーテンがなくプロジェクターが使えない)

#### ⑤ 生徒の意識の差(10校:18.9%)

代表例:知識の未熟な生徒に恐怖心を与えたのではないだろうかと思うような意見を聞いたことです。例えば「どうしたら防げるか」の問いに男女問わずに「セックスはしたくない」などの意見がでたことです。心身ともに発達度、成熟度を見極めての性に関する教育の難しさを実感します。/女子は自分の身体に直接かかわってくるので受けとめ方が重いのが男女の考え方の違いを目の当たりにし、男子にどう訴えかけていくかが今後の課題だと感じた。(グループワークで出た意見や感想の様子から) /感想を読んでも男子はどこか他人事という感じだった。男子の心をつかむ授業を行うためにはどうしたら良いかが課題。/クラスによっては、もっと深いところまで知りたい生徒が多く、生徒の実態を考えてももう少し話をしたいなあと思うことがありました。しかし、…これより深い部分は個別指導のほうが適しているのでしょうか。その時々学年、クラスによって要求の違いがある点は難しいです。/生徒への精神的な面で配慮もしたが、おとなしい生徒よりむしろ目立つ生徒の中で、途中退出した者も出た。又、最後まで出席して、参加もしていたが、嫌な事を思い出させたか、表情が浮かぬ生徒もいた。/どうしてもふざけて真面目にとりくみできない生徒がいること。/全クラス、同じ内容で実施しましたが、クラスによって、雰囲気はかわるし、担当する教師のキャラクターも、ひとりひとり違う中で、同じ教材を使うのは、少々難しい面もあると思いました。/私が担当したクラスではないが、中には場の空気を読めない男子(不登校的、しかし受けねらい)が、性感染症や妊娠を防ぐにはどうしたらいいか・・・という質問に対する討議内容の発表の際(できた意見をそのまま)「口でする」等発言した。そのことに注意をしていいものかどうか担当者は、大変困ったが、質問等には答えず保健室での個別指導につなげるとのことであったので、流したが、これでよかったのか・・・?とのこと。また、同じ生徒が将来の夢を書かせたが(色紙を配布し、感想文を書く時間に書かせ提出させた)「中だし」と書いて提出してきた(イニシャル)。これを貼り付け提示するのはどうだろう・・・?とのことで、チーム会議(反省会)の結果、本人を呼び出し指導し新たに書かせ、その紙は貼り付けないと結論に至ったが・・・。※おそらく、男子生徒の“乗り”の状態でも卑猥な内容が出ただろうことは考えられるし、見受けられた発表者が、常識的に省いたようにとらえている。/特に困ったところはありませんでしたが、初めは、恥ずかしさがあるのか、上手く発言が出来ない子たちがいました。/本校は性的に活発な者とそうでない者が2極化していると思われるので、授業の最後には配布できませんでした。

#### ⑥ 教材(主にメッセージビデオ)作成への困難(10校:18.9%)

代表例:メッセージビデオを作成することが出来なかった。難しく考えすぎていた。/教材作りとにかく時間がかかる。今年、ムービーメーカーで初めて作成したが慣れていないために大変だった。(しかし、苦勞して作成したものは、生徒達に伝わる思いもたくさんあったと思う。また、メディアを駆使した授業は、生徒にも受け入れられあきさせなかった。大変だが挑戦してもらいたいと思う。)/メッセージビデオの作成に多大なる時間を要しました。でもいいものが出来てよかったです。/どのようなメッセージビデオを

作製すれば、生徒に伝わるかが難しかった。/・写真を集める苦勞。入学時より念頭においていろいろな活動に生徒が打ち込む姿や何気ない日常のワンショットなどを撮りだしておくとうれしいビデオが作成しやすい。女子生徒で「最後のビデオに持っていかれた感が・・・(笑)」と書いている生徒がいたがメッセージビデオでどれだけ感動させるかという点はこの授業の成否を大きく左右すると思う。/・特に感じたことはありませんが、力量不足のため、「メディアリテラシー」のビデオを借用しました。研修会でここまで素晴らしいものを見ると、なかなか自分では作り出せません。/・教材を作るのにとっても時間がかかり、苦勞した。/・編集ソフトの使用方法がわからず苦慮したこと。・構想があってもなかなかイメージビデオを作成出来ずレンタルビデオをかりに足繁く通ったこと。・テレビでダビングした映像を使用出来なかったこと。・2年分の写真の中から教材の写真を選ぶのに苦慮したこと。・ぬいぐるみ効果を考えて、導入する際、ぬいぐるみ確保にも苦慮した。(個人購入と借用) /・動画編集やメッセージDVDの作成など、自分自身で慣れない作業があり、他の教師との分担もうまくいかなかったので、教材づくりに苦勞しました。/そのため準備していたメッセージビデオにも大幅な変更を加える必要が生じ、また、グループワークも実施が不可能になるなど個人的なことですが多少困ったことがありました。

⑦ 今後への要望(7校:13.2%)

代表例：私が研修会で見せていただいた木原先生の授業風景のビデオを担当の先生に見てもらえたらもっと具体的に理解してもらえたいかもしれない。来年度は先生の授業風景のビデオも資料としてであると助かります。/可能でしたら、限定でもいいので今回のように貸し出しをしてくださるとメッセージビデオに集中できるのでうれしいです。/ビデオテープよりパソコンに読み込んでパワーポイントで動画も扱えるように/予防サイトのカード配布について・本校は性的に活発な者とそうでない者が2極化していると思われるので、授業の最後には配布できませんでした。個別に相談があった場合に配布する予定ですが、なかなか渡す機会がない状況です。せっかくのいいカードであるため、授業最後に全員とはいかないでしょうか。/スライドの構成が少し無理がある。中絶の減少をどう分析することも大切な気がする。(増だけの注目か、行動できることが大切とするのか)最後の???のスライドは、少し逆に「えっ」と混乱させて少しメッセージが効果減。元彼、元彼女のつながりも少し多すぎる。逆効果では?将来として考えさせるスライドにしてほしい。/人間関係を希薄化させている現実を追認していないことを前提とできたらよいのですが生徒が生きている現実の中でWYSH教育がめざすことは、生徒にとって積極的に取り組めるものであったかどうか振り返っています。/・昨年度と同様に、ポスターのグラフ部分と表現に納得がいかない教員からの強い意見(大阪が多いという根拠としては説得力のないグラフであること、グラフの内容が必ずしもメッセージの裏づけになる数値ではないゆえに、グラフの意味がない等)があり、校内運営委員会で検討のうえ、グラフが小さく見えにくいという点も考慮してポスターの掲示方法に工夫を要した。ポスターの主旨は理解しているが、内容が効果的かどうかとなると、グラフ部分を含め改善が必要かと思われる。

⑧ 教師の知識・経験不足(6校:11.3%)

代表例：・主要講義、グループワークとも複数の教員で担当したが、教師の熱意や資質により指導に差がある。/事前に進め方の説明を受けたが当日、実際どう進めるかがイメージが十分できていなかった。/・男女混同なので、生徒は異性の教員から性に関する授業を受けることになり、教える側も同様になる。教員のアンケート記述の一部から、一般科目の教員が異性の生徒の前で、性についての話を行うことに心理的抵抗を受けているようではあったが、表面化させにくいので、生徒、教員双方が心理的抵抗を受けさせないため

にはどうすればよいか課題である。/今年初めての実施だったのでどのようなことから始めていけばいいのかわからず不安でした。/構えてしまう先生がいる。/若い先生は恥ずかしいかもしれない先輩だから(人生の)

⑨ 機器操作が難しい(5校:9.4%)

代表例:メッセージビデオづくりでは、映像をつなげたり、音を入れたりの技術的な面のサポートも忙しい教員に頼みづらく、コンピューターにくわしい放送部の1年生に協力してもらい完成した。/視聴覚教材の扱いに不慣れなため苦労した。/視聴覚機材の使用が大変だが、理解できやすく見ている側には良いと思う。/・BGMを入れながら、同時にパワポを動かすときの操作がやや面倒であったこと(余裕があればパワポにBGMを入れておけばよかったのではあるが・・・)/ビデオ(中絶)が不具合で動かなかった。事前の試写では動いていたとのことだったが残念であった。ショックだった。

⑩ 他教科との連携(5校:9.4%)

代表例:6クラス12時間養教が授業へ出掛けることは楽しかったけれど、複数配置であるから出来ることだと思えました。/いわゆる一般教科のものにとっては専門外の分野であり再考の余地がある。/・体育科職員に対して、説明、納得させることで精一杯であった。木原先生をはじめ、多くの関係者の皆さん方には学年としての取り組みが出来ず申し訳ありません。/・今回、家庭科枠の中での実施となりましたが、教科の枠の中では、この様な授業はやりにくい。授業を評価するとなると、難しい面があります。シラバスの中で計画に入れなければならないし、指導するのではなく「自分で考え、気づく」というあり方はLHRの時間での実施が望ましいと思います。又、担任が担当することで、より、生徒達の思いに気づき、WYSH教育をひき続き、生徒とのかかわりの中で、生かしているのではないのでしょうか。家庭科では、このプログラムがなくても同じような理念を持って授業をしていますので、今後は教科との関連づけなども、してほしいです。/・保健の授業での取り扱いについて

⑪ 準備時間の確保(3校:5.7%)

代表例:・この時期は、文化祭、体育祭、インターシップと行事が多く担任団の負担が大きかった。・教室の明るさ、プロジェクターの設置、ぬいぐるみなどのセッティングなど、当日の場所と設定と準備する時間にハラハラした。/あれもこれもと伝えたいことはたくさんある中でテーマを絞って指導案を決めるまで多くの時間を費やしました。/・見学旅行空け、インターンシップ前とあわただしい時期にやったため話し合い(先生同志の)の時間がとりにくかった。

⑫ 次年度への継続困難(2校:3.8%)

代表例:・今年度は初めてWYSH教育に取り組んだためプロジェクトチームを立ち上げ実施したが、次年度以降も組織的に進めていくことができるか現段階ではわからない。/・次年度への発展的継続—これまでの取り組みとの融合・理解者・協力者を増やすための働きかけ・校内における協体制の確立・効果的なグループワークの開発



図29.WYSH 教育に対する感想(高等学校:53校)良かった点

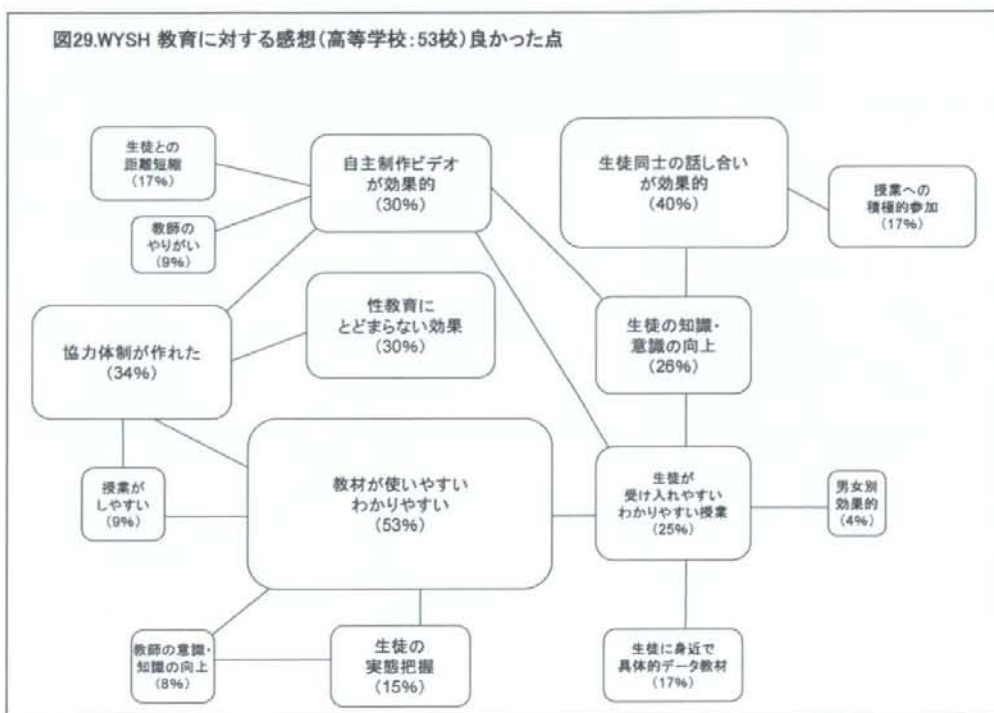
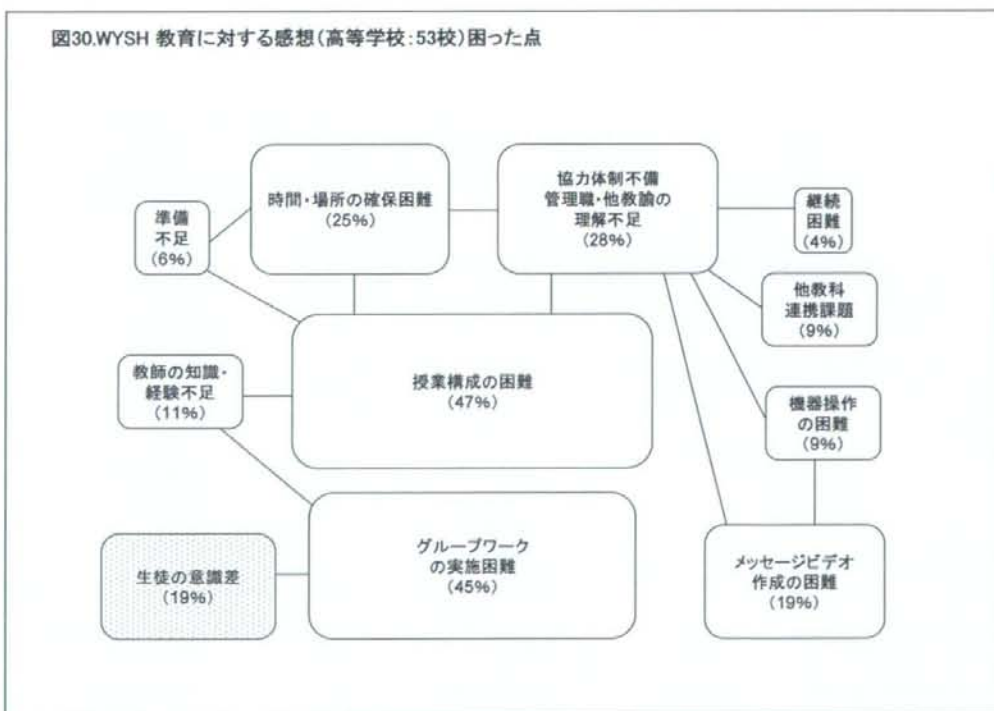


図30.WYSH 教育に対する感想(高等学校:53校)困った点



## 2008年度全国の中学生/高校生に対する WYSH プロジェクトの評価のまとめ

今回のプロジェクトによって、以下のような成績が得られた。

(非教育群[WYSH 教育を実施していない群]と教育群[WYSH 教育を実施した群]との比較)

\*注：この場合、教育群とは WYSH 教育の全プログラムを完全に実施した学校群

### 【中学3年生】

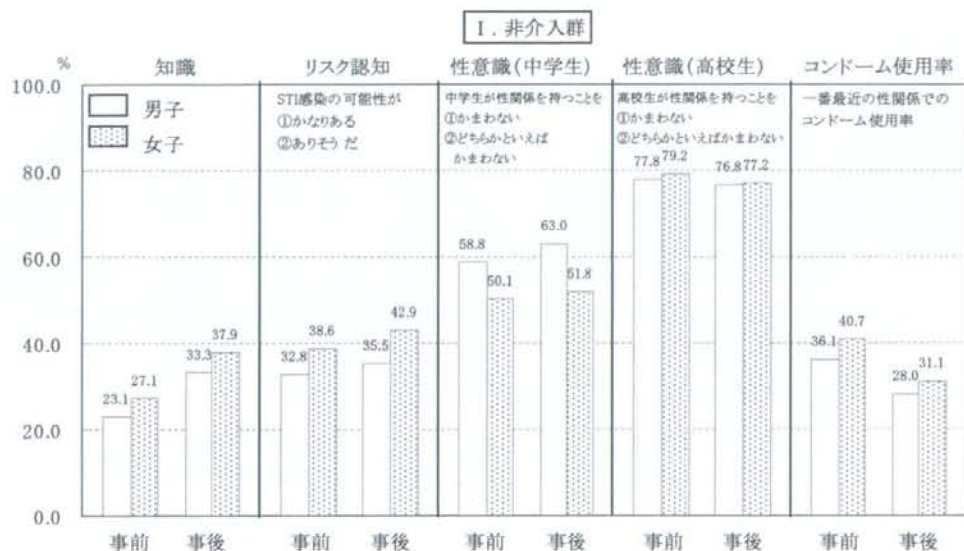
- ① **知識**：HIV/STI 関連知識は非教育群では男女とも約 10%の増加にとどまったが、教育群では男女とも **知識が大幅に (50%以上) 上昇した。**
- ② **性意識**：[中学生が性関係を持つことへの容認意識]は、非教育群ではわずかな変化しかなかったが、教育群では **大幅な抑制効果 (容認意識の 10%近くの減少) が観察された。** さらに、**「高校生になってから性関係をもつことへの容認意識」も、非教育群では、わずかな変化にとどまったが、教育群では大幅な抑制効果 (容認意識の 10%前後の減少) が示された。**
- ③ **リスク認知**：「将来の自分の STI 感染リスク認知」は、非教育群では男女とも数%増加であったが、教育群では男女とも 20-30%程度の **リスク認知の顕著な上昇が見られた。**
- ④ **予防行動**：[予防行動 (最後のコンドーム使用率)]は、非教育群ではあまり変化がないが、教育群では、男女とも 10%近くの増加が見られ、予防行動への変容効果が観察された。(注：中学生の性経験者の教育前のコンドーム使用率は約 50%と高校生に比べかなり低率である)
- ⑤ **性経験率**：図中には示していないが、本プロジェクトによって性行動が活発化することはなかった。

### 【高校2年生】

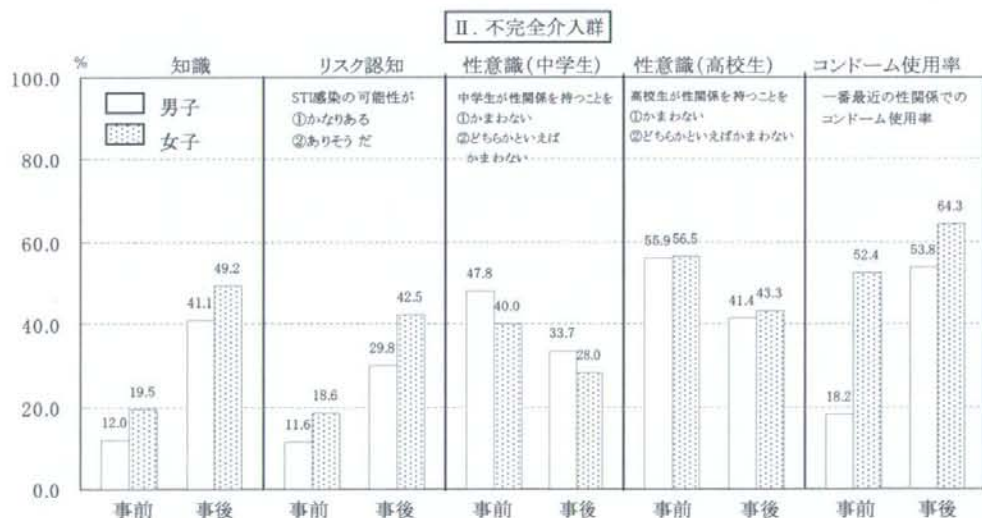
- ① **知識**：HIV/STI 関連知識は非教育群では男女とも 10%前後の増加であったが、教育群では男女とも **知識が大幅に (30%前後) 上昇した。**
- ② **性意識**：[高校生が性関係を持つことへの意識]は、男女とも性関係の容認意識の変化は観察されなかった。
- ③ **リスク認知**：「将来の自分の STI 感染リスク認知」は、非教育群ではほとんど変化がなかったが、教育群では **リスク認知が大幅に (10%前後) 上昇し、顕著な効果が観察された。**
- ④ **予防行動**：[予防行動 (最後のコンドーム使用率)]は、非教育群では減少した (男子約 35%、女子約 4%) が、本プロジェクト実施群では、非教育群のようなコンドーム使用率の減少は見られずわずかに上昇した (減少が抑えられた=教育前の状況を維持できた)。(注：高校生の性経験者の教委前のコンドーム使用率は既に 70-80%と高率であるため、シーリング効果の可能性あり。)
- ⑤ **性経験率**：図中には示していないが、本プロジェクトによって性行動が活発化することはなかった。

本プロジェクトで開発したモデル授業やその教材が、中学生・高校生の性行動を活発化させることなく、知識、性関係についての容認意識、リスク認知および予防行動 (中学生) に顕著な教育効果を示すことが確認された。

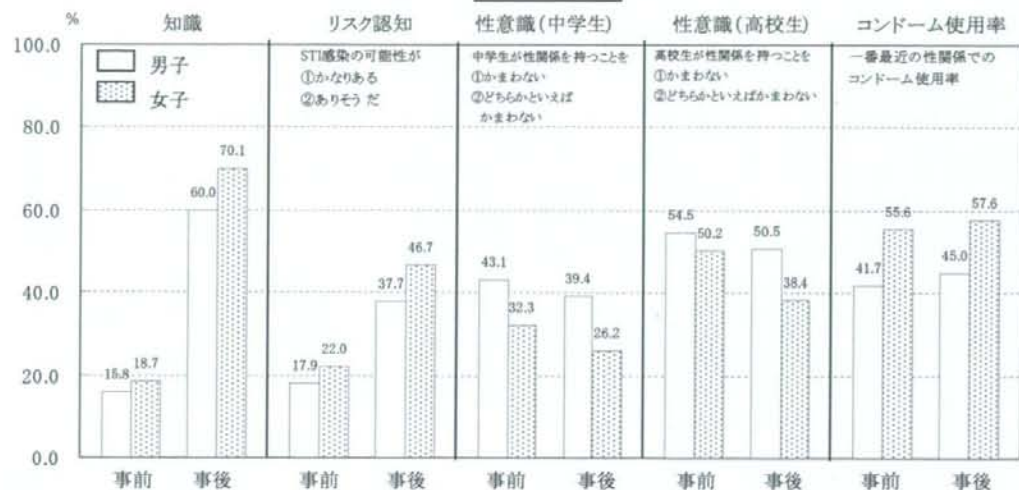
中学3年生



STI 関連知識：①クラミジアは性病②HIV と STI 相互作用③STI は無症状のことがある④STI は不妊の原因になりうる⑤地域中絶増加



### Ⅲ. 中間介入群



### Ⅳ. フル介入群

